



11月は薬剤耐性(AMR)対策推進月間です。

内閣官房

内閣官房 国際感染症対策調整室

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr.html>

農林水産省 公式 Twitter

https://twitter.com/MAFF_JAPAN

11 月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です。

農林水産省では動物分野の取り組みとしてペットの飼い主の方向けにツイートをスタート！職員自慢のワンコとニャンコも登場するのでご期待ください！

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr.html>

#農林水産省 #薬剤耐性# #AMR 対策推進月間#農林水産省のペットの薬剤耐性について考えよう 2020



抗生物質はペットにもあなたにも大切なお薬です。

動物病院で処方される抗生物質はあなたのペットを治すために必要です。しかし、不適切に使用すると抗生物質が効かない菌が増え、病気が治りにくくなることも…

獣医さんの指示をしっかりと守って飲ませましょう。

#農林水産省 #薬剤耐性#農林水産省のペットの薬剤耐性について考えよう 2020



薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランの 成果と次期の展望

～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチの重要性～

今般、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、医療危機、社会経済的な危機が生じていますが、人と動物の共通感染症であることから、人と動物等の保健衛生の一体的な推進（“One Health”アプローチ）の必要性に社会的な関心が高まっています。

薬剤耐性(AMR)対策についても、“One Health”アプローチに基づき、医療、産業動物診療、小動物診療、農業生産、水産養殖、食品安全等、広範な分野で相互に情報提供等を行いつつ、それぞれの分野で有効な施策を講じていくことが不可欠です。

本連携シンポジウムは、このような社会的要請を踏まえ、薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2016-2020」の取組みと今後の課題について検討した上で、医療、獣医療等の現場における薬剤耐性(AMR)対策の実践事例について紹介及び検討を行い、医療、獣医療等の関係分野における薬剤耐性(AMR)対策の一層効果的な推進に資することを目的として開催します。

開催日時：令和2年12月3日（木）13：00～17：00（予定）

開催形式：Webによる開催（リアルタイム配信及び動画配信）

＜参加費：無 料＞

シンポジウムの申込み：<https://jvma-sympo.jp/12AMR-sympo.html>



第一部：「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン2016-2020」の 取組みと今後の課題

〔特別講演〕

- 1 医師側からの提言 渡邊治雄（国立感染症研究所名誉所員、黒住医学研究振興財団理事長）
- 2 獣医師側からの提言 田村 豊（酪農学園大学名誉教授）

主 催：公益社団法人 日本医師会 / 公益社団法人 日本獣医師会

第二部：医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の紹介

I 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の取組みなど

- ・ 医療分野：「抗菌薬適正使用普及のためのグラム染色検査の実施」
前田稔彦（まへだ耳鼻咽喉科クリニック）
 - ・ 医療分野：「AMR対策リファレンスセンターでの薬剤耐性菌対策の普及啓発」
松永展明（国立国際医療研究センター）
 - ・ 獣医療分野：「グループシステム移行での生産性向上、事故率の低減、抗菌剤使用量の削減」
呉 克昌（（株）バリューファーム・コンサルティング）
 - ・ 獣医療分野：「病原菌と戦わない環境づくりで、生産性の向上、抗菌剤使用の削減」
高橋佐和子（（有）高橋畜産）
 - ・ 獣医療分野：「愛玩動物の慎重使用の推進の取組」
松田真理（動物医薬品検査所）
- （全ての演題名は仮題です。）
（講演の順序は変更することがあります。）

II 医療分野及び獣医療分野における薬剤耐性対策の現状と対策

- ・ 医療分野における現状と対策（厚生労働省）
- ・ 獣医療分野における現状と対策（農林水産省）

後 援：農林水産省 / 厚生労働省